

手話放送への対応について

平成24年3月1日
日本放送協会

1. NHKの手話番組（平成23年度）

Eテレで7つの手話番組を放送。1週間の放送時間は3時間50分

	番組名	曜日	放送時刻	時間
1	「NHK手話ニュース」	月～金	13:00～13:05	5分
		土・日	19:55～20:00	
2	「NHK手話ニュース845」	月～金	20:45～21:00	15分
3	「こども手話ウィークリー」	日	19:45～19:55	10分
4	「週間手話ニュース」	土	11:40～12:00	20分
5	「NHKみんなの手話」	日	19:00～19:25	25分
		金	11:30～11:55	
6	「ろうを生きる難聴を生きる」	日	19:30～19:45	15分
		金	12:30～12:45	
7	「ワンポイント手話」	日	19:25～19:30	5分
		金	11:55～12:00	

2. 「手話ニュース」のこれまでの歩み

「手話ニュース」の放送開始から、20年以上が経過

- ▶ 平成2年（1990） 「きょうのニュース 聴力障害者のみなさんへ」新設
- ▶ 平成6年（1994） 「お昼のニュース 聴力障害者のみなさんへ」新設
- ▶ 平成7年（1995） 「週間手話ニュース」新設
- ▶ 平成8年（1996） 昼・夜「手話ニュース」に名称変更
- ▶ 平成9年（1997） 「手話ニュース 8 4 5」新設
- ▶ 平成10年（1998） 「こども手話ウィークリー」新設
- ▶ 平成19年（2007） 「週間手話ニュース」15分間→20分間に拡大
- ▶ 平成20年（2008） 「こども手話ウィークリー」金曜→日曜に変更
- ▶ 平成23年（2011） 3月 東日本大震災で初の特設ニュース
9月 台風12号・15号で特設ニュース

☆放送開始の年（1990）との比較

- 1週間の通算の放送時間:1時間→2時間20分
- キャスター数:6人→14人
- ろう者のキャスター:0人→9人

3. 「手話ニュース」ができるまで

「NHK手話ニュース845」制作の現状～時間との戦い

○午後4時30分ごろ～ スタッフ集合・ミーティング

- ・ニュース項目の検討
- ・原稿の作成・リライト（短くわかりやすい原稿に書き直す、放送直前まで随時修正）
- ・字幕テロップ発注・作成
- ・VTR編集作業

○午後6時30分ごろ～

- ・手話による表現の検討・調整（専門用語の表現方法等）
- ・原稿の修正（随時）
- ・綿密なりハーサルの実施
- ・字幕テロップのチェック
- ・尺調整

○午後8時45分 放送本番

4.手話放送拡大の課題

- (1) 字幕放送のようなオン・オフの機能がない
- (2) 「ワイプ表示」は「見づらい」、画面上の制約もある。
- (3) 総合テレビのニュース等はそのまま手話での的確に表現し正確に伝えることが困難
わかりやすく確実に伝えるための工夫（原稿リライト・手話表現の統一等）や入念な準備・手間をかけて正確に伝える取り組みが不可欠
- (4) 優秀な手話通訳者や手話のできる制作・送出スタッフの確保

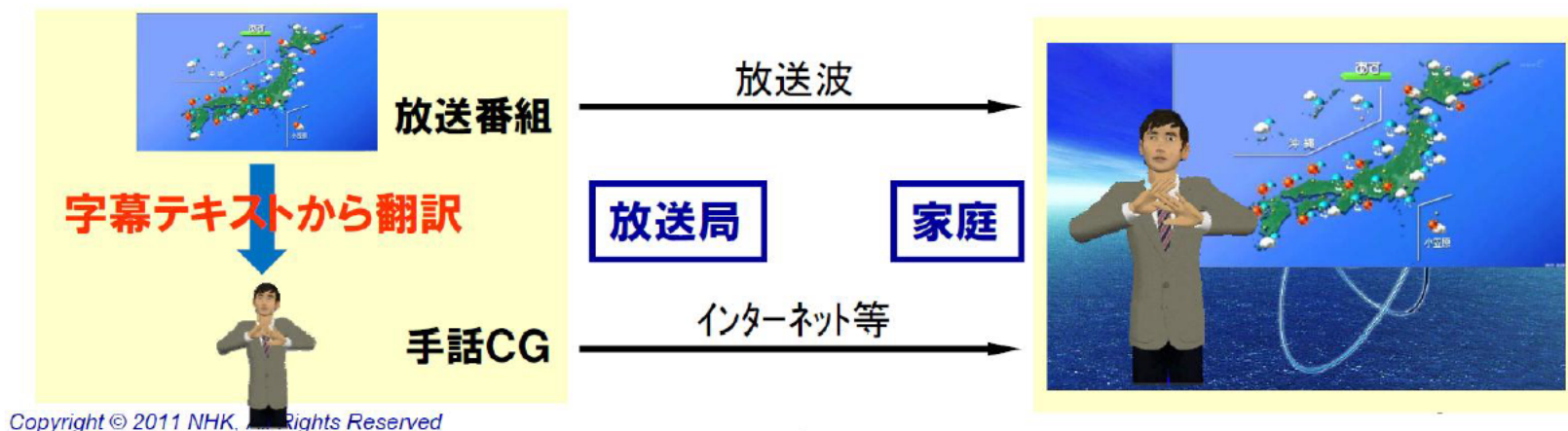
5.手話放送の拡充に向けて

手話通訳者の確保や緊急時での迅速な対応等の課題をクリアするために・・・



NHK技術研究所で手話CGの基礎的研究や放送と通信の連携システム「ハイブリッドキャスト」を利用したサービスの可能性について、研究・開発を実施

手話CG放送：日本語を手話CGに自動的に翻訳



Copyright © 2011 NHK, All Rights Reserved

- 【課題】
- ・手話単語5000語であり、翻訳可能な文の範囲が狭い
 - ・CGの人物の手話動作が不自然
 - ・手話CGのデータ容量が多く、現行のテレビ放送での伝送は困難